

監督◆インタビュー

黒田 剛
KURODA GOプロフィールは
こちらをクリック！**--単独首位に浮上しました。**

「首位には首位の苦しみがあります。首位には2位や3位とは違う悩みが出てくるものですし、維持や継続は衰退です。ここからは何かを積み上げる作業が少しずつ難しくなってくると思っています。スポンジのように吸収しようとしていたキャンプの時期から少しずつ吸収するキャパシティーがなくなってくる中で、スポンジの大きさを変えていく作業をしなければなりません。例えば、J2に復帰した2016年を引き合いに出せば、第3節から第7節まで勝ち続けて5連勝を達成しています。ただその時の5連勝が町田の過去最高の連勝記録です。そして次の6連勝目を達成できれば、町田の歴史を変える第一歩にもなります」

--次の藤枝戦はクラブの歴史を塗り替える一戦になると。

「16年は第12節まで首位にいた時期がありながら、一巡目の対戦を終わった段階で7位、シーズンの通年でも7位で終わっています。当時起きた現象をいろいろな形でリサーチし、その問題点がまだクラブ内にはびこっていることなのか、選手が入れ替わって一掃されたものなのか。そのあたりを判断した上で選手たちにどう声を掛けて、危機感を覚えさせるか。そうしたマネジメントが必要になります。勢いで達成できる6連勝だとは思っていません。相手も対策をしてきますし、常に町田を止めようと動いてくる中で、相手もしたたかに戦ってくるでしょう。そういったことを十分に認識しながらどう戦うか。もう一歩先の戦いをしなければなりません」

--藤枝に対する印象は？

「一言で言うと、うまいです。しっかりとサッカーをしてくるチームですし、ボールを繋ぐ際の距離感も良いです。また両ワイドのドリブル突破が光るし、前線の決定力もあります。それ以外に背後を突く意識も高いです。3バックを採用していることで守備をしやすい隊形を取っています。ただ攻め切れなかった時に必ず弱点が出てくるなとも思っています」

--3試合ぶりのホームゲームです。ファン・サポーターの皆様へ、メッセージをお願いいたします。

「前節のいわき戦はアウェイにもかかわらず、250人ほどの方々がスタジアムに来て下さったと聞いています。選手たちも喜んでいました。ありがとうございます。いわき戦は粘り強く、劣勢の中でも1点を取って勝ちきるという劇的であり、また刺激的である感動を与えられるようなゲームをできました。その感動を分かち合ったファン・サポーターの皆様がまたスタジアムまで足を運んで下さり、同じ喜びを共有したいという方々もいると思います。ただそれが一過性のものにならないように、これが本物の感動だと改めて感じていただけるような闘志をむき出しにする試合をしていかなければなりません。そういったファン・サポーターの皆様の期待を裏切ることがないように、今季の町田が違うということを、見届けていただけるように頑張ります。今節も熱い応援をよろしくをお願いいたします」

FC MACHIDA ZELVIA DIGITAL MATCHDAY PROGRAM

FC町田ゼルビアと、共に。
CLUB
ZELVISTA
オフィシャルファンクラブ
クラブゼルビスタ 2023
シーズンシート